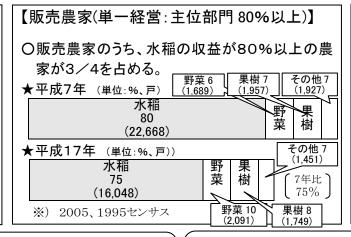
本県における水稲の位置づけ

【作付延面積】

※) 香川農林水産統計年報

〇水稲の作付けは、いずれも過半を占め、耕地利 用上の重要な品目

★平成10年 (単位:%、ha) 水稲 野菜 果樹 その他 21 11 20 (16.500)(7.138)(6.652)(3.810) ★平成20年 果樹 9(2,680) (単位:%、ha) 野菜 水稲 その他 20 18 10 年比 53 (15.200) (5.610)(5,110) 83%



【農業産出額】

- 〇水稲の割合は約20%で、全国平均と同水準
- ○野菜が30%と大きいのが特徴(全国平均:22%)

★平成10年			(単位:%、億円)			
	水稲	野菜	畜産	その他		
	20	34	25	21		
	(192)	(330)	(240)	(197)		
- B						

★平成20年			(単位:%、億円)				
	水稲 21 (165)	野菜 31 (239)	畜産 32 (254)	その他 16 (128)	[10 年比] 82%]		
V// 毛田典 H. L 女仗到 医把							

※) 香川農林水産統計年報

【水稲経営の現状】

- 〇認定農業者のうち、米麦を基幹作物とするのは1割未満(平成22年3月 現在)(栽培面積は約750ha、水稲栽培面積の約5%)
- 〇水稲作付面積の84%は、兼業農家により栽培 ※ 2005 センサスより試算
- 〇付加価値をつけた水稲のブランド化も見られる。
 - ・特徴ある米づくり・水主米(33ha) ・合鴨米(3ha) ・七夕米(3ha)等
- 〇水稲を主とした営農類型で、他産業並みの所得560万円を得るには 6. 2haの水稲栽培が必要。ただし、水稲で得られる所得は222万円で 41%に過ぎない。 <u>※ 21県基本方針営農モデル</u>
- 〇水稲栽培の平均作付面積は45a/戸(全国平均:89a/戸)で、規模は極めて零細。 5ha 以上作付する生産者も0.4%(全国平均:4%)と少なく、規模拡大は進んでいない。
- 〇水稲の生産コストは、全国平均に比べ約3割高く、他の産地との競争 は不利
- ○本県産米の価格は、15,254円(20年産ヒノヒカリ)で、全国平均価格 16,099円に比べ、安価に取引き(▲845円) ※<u>コメ価格センター入札結果</u>

【水稲生産の現場】

〇兼業農家が主たる構成員である集落営農組織では、水稲を基幹作物 として位置づけ、作付延べ面積の約70%で水稲を栽培

※ 21水田経営所得安定対策加入状況調査

〇将来、集落内の農地や農業用水などを維持することが困難と考える 生産者は約9割で、5年前より10ポイント増加。その対策として集落 営農を効果的とする者は2/3

※ 22食品及び農業・農村に関する意識意向調査(農林水産省)ほか

- 〇休日の管理作業でも十分栽培できる水稲は、集落営農向きの品目 (日常の管理が必要な水管理は、集落内の助け合いで)
- 〇水稲は、転作により自由に生産拡大できないが、新規需要米は需要 の開拓を通じて、作付拡大は可能
- ○転作作物や裏作物としての露地野菜等の安定生産に貢献
 - ・連作障害の回避 ・効率的な肥培管理 ・土壌病害の発生抑制
- ○農地の適正利用により、農業・農村が持つ多面的機能に貢献
 - ・洪水防止 ・水資源かん養 ・大気浄化 ・気候緩和 など